令和８年度

看護学生募集要項

八戸市立高等看護学院

〒031-0804　青森県八戸市青葉二丁目 17 番 4 号
電　話（０１７８）２２－４１６９
　　（０１７８）２４－３７１５
ＦＡＸ（０１７８）２２－４１７８
Ｅ-mail：koto@city.hachinohe.aomori.jp

令和８年度　学生募集要項

募集人員	35 人程度
修業年限	2 年（全日制）
受験資格	①高等学校又は中等教育学校を卒業（見込み）し、准看護師免許を取得している者（免許取得見込者を含む） ②准看護師免許を取得後、3 年以上の実務経験があり、高等学校卒業程度の学力を有すると認められる者

願書提出時に必要な書類

受験資格①該当者	受験資格②該当者
１．所定の入学願書 ２．准看護師免許取得者は、准看護師免許証の写し ３．高等学校又は中等教育学校の卒業証明書 ４．高等学校又は中等教育学校の調査書※ ５．准看護師養成所の卒業（見込み）証明書 ６．准看護師養成所の成績証明書 ７．准看護師養成所の人物調書 ※４について、卒業後一定期間を経過し、学校で調査書の発行ができない場合は、発行できない旨の証明書が必要となります。	１．所定の入学願書 ２．准看護師免許証の写し ３．准看護師養成所の卒業証明書 ４．准看護師養成所の成績証明書 ５．准看護師養成所の人物調書 ６．所定の就業証明書 ７．所定の内申書 ８．高等学校卒業程度認定試験合格証の写し※ ※８について、合格証の写しがない場合は、必要に応じ、試験又は審査があります。

※障害者基本法に定める障がいがあり、講義や臨地実習の際に配慮が必要となる方は事前に相談ください。
※募集要項を希望の方は、180 円分の返信用切手を同封のうえ請求ください。
（八戸市ホームページからもダウンロードできます。）

受験手数料	10,000 円（郵送の場合は普通為替でお願いします。）
出願方法	出願書類と受験手数料を一括し、封筒の表に「入学願書在中」と朱書きして、持参または簡易書留等で郵送してください。
提出先	〒031-0804　青森県八戸市青葉二丁目 17 番 4 号 八戸市立高等看護学院
受験票の交付	出願書類等が完備している場合、受験票を交付（郵送）します。 試験当日、持参ください。
そ の 他	1.納入された受験手数料は、理由にかかわらず返却しません。 2.願書等の郵送による紛失には責任を負えませんので、簡易書留やレターパックの利用をお勧めします。

＜試験日程＞

	一般入試（一次）	一般入試（二次） **※欠員が生じた場合実施**
受付期間	令和７年 11 月 25 日（火）～12 月 9 日（火） 必着	令和８年１月 26 日（月）～２月５日（木） 必着
試験日	令和８年１月７日（水）	令和８年２月 19 日（木）
合格発表	令和８年１月 23 日（金）　午前９時	令和８年３月６日（金）　午前９時
	※本学院玄関に合格者の受験番号を掲示（八戸市ホームページ上にも掲載）します。 ※合格・不合格にかかわらず全員に結果を通知（郵送）します。	
試験科目及び選考方法	①学科試験　一般科目：現代国語 専門科目：准看護師資格試験に準ずる内容 ②面接試験 ※准看護師免許取得後の業務歴が３年以上になる方については、選考の際に配慮します。	
試験会場	八戸市立高等看護学院　　電話　（0178）22－4169・24－3715	
入学試験成績の開示	開示請求をした受験者本人に対し、学科試験の得点および面接点を開示します。（詳細は受験当日に説明します）	

令和７年度入学生入試状況

応募者数	受験者数	合格者数	倍率
２１人	２１人	１９人	１．１１倍

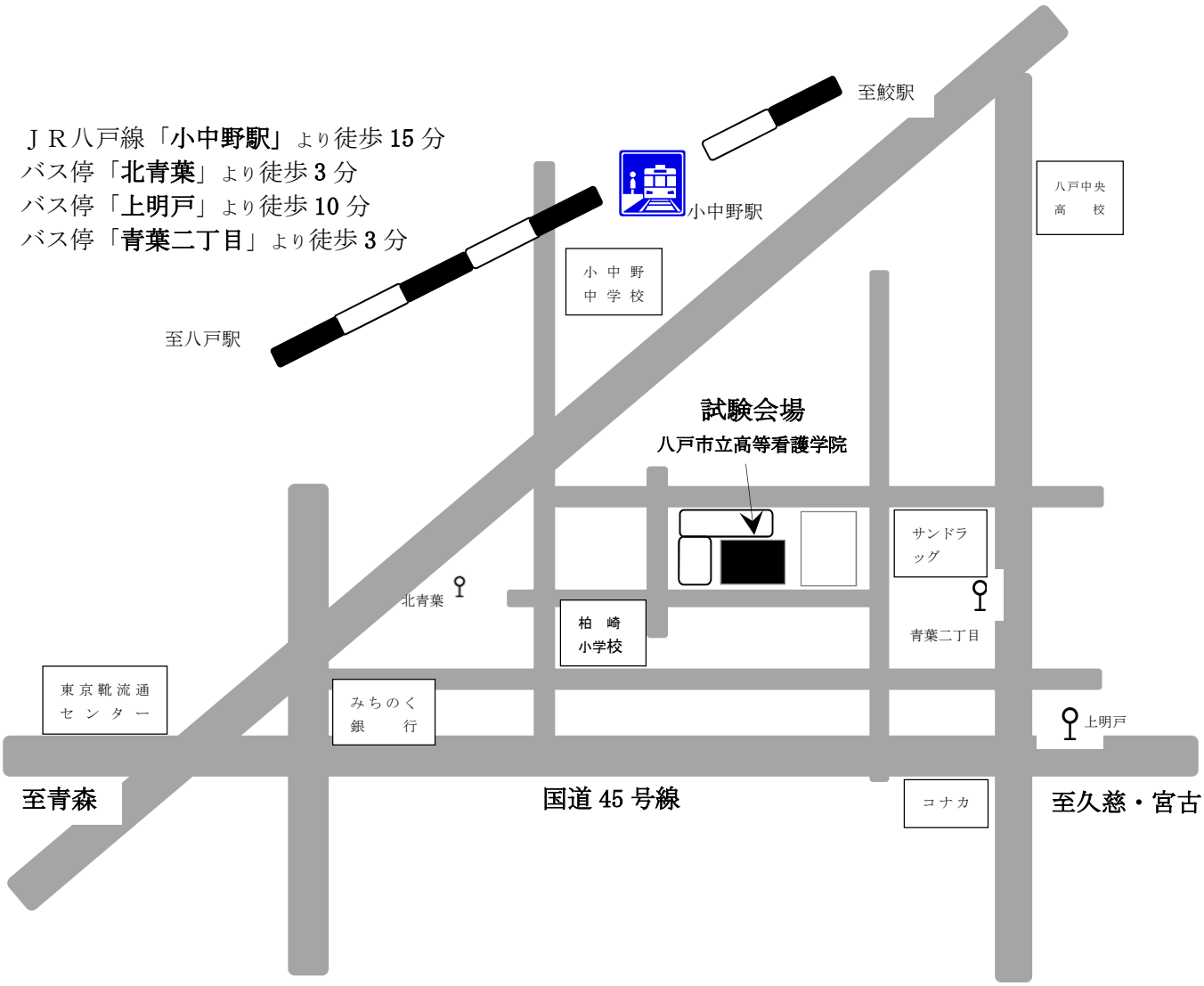
学院案内

教育理念	本学院は看護に関する専門的知識及び技術を教授し、高い倫理観と豊かな人間性をもって社会に貢献できる看護専門職を育成する。	
教育目的	本学院は、豊かな感性と人間性を基盤に、看護師として社会に貢献するために必要な知識・技術・態度を身につけた人材を育成する。	
授業時間について	月～金曜日　8時40分～16時20分　　ただし、個別指導やグループ活動等で、終了時間が遅くなることがあります。また、実習時間は施設・領域によって異なります。	
経　　費	入　学　金	①本人又は親族（本人の父母、祖父母又は兄弟姉妹で本人の生計を維持している者）が入学の前年の4月1日から引き続き市内に住所を有する場合 75,000円 ②その他の場合 150,000円
	授　業　料	年額240,000円（月額 20,000円） ※原則として6か月分ずつ2回に分けて納入します。
	教科書・参考書代	1学年180,000円、2学年 25,000円程度の見込みです。 ※他に教材関係費用として、年間 15,000円程度かかります。
	ユニフォーム代等	20,000円程度、その他、実習に関する諸経費を別途徴収します。
	国家試験関係	国家試験対策、受験手数料、受験宿泊費等として、50,000円程度かかります。
	その他	①学友会費　年額2,000円　②学会参加費　実費分を徴収します。 ③賠償責任保険　年額4,500円　④卒業諸費　8,000円程度
卒業後の資格	１．看護師国家試験の受験資格が得られます。 ２．保健師・助産師学校への進学資格及び大学等への編入資格が得られます。	
主な実習施設	八戸市立市民病院、総合リハビリ美保野病院、湊病院、訪問看護ステーション、介護老人福祉施設、保育所、障がい児入所施設、多機能型サービス事業所、地域密着型サービス関連施設	
交通機関の学割制度	ＪＲ旅客運賃は学生割引が適用されます。また、定期券購入の際は、ＪＲ・各バス会社とも通学割引が適用されます。	
寮・アパート等	本学院に寮はありません。また、アパート等の斡旋は行っておりませんので、各自で手配されるようお願いします。	
自動車通学について	本学院では学生用の駐車場がありません。通学に自家用車を使用する場合には、必ず民間の契約駐車場を確保した上、学院に自動車通学の旨を届け出てください。	
既修得単位の認定	所定の学校等で履修した科目について、本学院の教育内容に相当すると認められる場合、その科目の履修を免除することがあります。	
そ の 他	１．青森県及び八戸市看護師等修学資金制度への申請が可能です。 ２．日本学生支援機構奨学金制度への申請が可能です。 ３．専修学校における所得税法勤労学生控除が適用されます。 ４．教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の講座として指定を受けています。	

教育課程

分野	教育内容	単位数	時間数	分野	領域	教育内容	単位数	時間数	分野	領域	教育内容	単位数	時間数
基礎分野	物理学	1	30	専門分野	基礎看護学	看護学概論	1	30	専門分野	看護学 小児	小児看護学概論	1	30
	情報科学	1	30			コミュニケーション技術	1	15			地域で暮らす子どもと家族の支援	1	15
	社会学	1	30			フィジカルアセスメント	1	15			子どもの疾患と看護	1	30
	倫理学	1	30			日常生活援助技術	1	30		看護学 母性	母性看護学概論	1	15
	心理学	1	30			診療に伴う援助技術	1	30			ウィメンズヘルスと看護	1	30
	人間関係論	1	30			学習支援技術	1	15			周産期における母子の健康と看護	1	30
	英語	1	30			看護過程	1	30		看護学 精神	精神看護学概論	1	30
	言語と表現	1	30			臨床看護総論	1	15			患者心理を支える看護	1	15
	小計	8	240			がん看護総論	1	20			精神疾患と看護	1	30
専門基礎分野	解剖生理学Ⅰ	1	30			臨床判断の基礎	1	15		看護の統合と実践	看護管理	1	15
	解剖生理学Ⅱ	1	30			看護研究の基礎	1	20			医療安全	1	15
	生化学	1	15		地域・在宅看護論	地域で暮らす人々の理解	1	15			災害国際看護	1	30
	栄養学	1	30			地域・在宅看護概論	1	30			臨床看護演習	1	15
	臨床薬理学	1	30			在宅療養を支える訪問看護	1	15		小計		36	805
	微生物学	1	15			在宅看護技術	1	15		臨地実習	基礎看護学実習	2	90
	病理学	1	30			地域での療養生活を支える看護	1	15			地域・在宅看護論実習	2	90
	病態治療論Ⅰ	1	30		成人看護学	成人看護学概論	1	30			成人・老年看護学実習Ⅰ	2	90
	病態治療論Ⅱ	1	30			手術を受ける人の看護	1	30			成人・老年看護学実習Ⅱ	2	90
	病態治療論Ⅲ	1	15			病とともに生きる人の看護Ⅰ	1	30			小児看護学実習	2	90
	総合医療論	1	15			病とともに生きる人の看護Ⅱ	1	30			母性看護学実習	2	90
	社会保障と社会福祉	1	30		老年看護学	老年看護学概論	1	30			精神看護学実習	2	90
	公衆衛生	1	15			生活機能が低下した高齢者を支える看護	1	15			統合実習	2	90
	関係法規	1	15								小計	16	720
	小計	14	330			認知機能が低下した高齢者を支える看護	1	15	総計			74	2095

沿　　革

昭和 43 年 9 月 1 日	「八戸市立高等看護学院」が定員 20 名の全日制看護婦養成所として旧市民病院看護婦寮に開校
昭和 45 年 4 月 1 日	1 学年定員 20 名の定時制看護婦養成所「八戸市立第一高等看護学院」が、現在は市立図書館がある旧八戸市立第一高等学校（現在の青森県立八戸中央高等学校）の校舎を借用し開校
昭和 48 年 3 月 20 日	「第一高等看護学院」の校舎が、現在の青葉二丁目 17 - 4 に新築完成
昭和 48 年 4 月 7 日	「第一高等看護学院」が新校舎での授業開始。1 学年定員 50 名に改定
昭和 48 年 8 月 1 日	旧市民病院の増築に伴い「高等看護学院」が旧八戸市立第一高等学校校舎に移転
昭和 57 年 11 月 1 日	「第一高等看護学院」の校舎を増築。「高等看護学院」が増築部分に移転し授業開始
昭和 58 年 4 月 1 日	定時制の「第一高等看護学院」と全日制の「高等看護学院」を統合 全日制と定時制の二部制を敷く「八戸市立高等看護学院」が発足
平成元年 4 月 1 日	定時制を廃止し、1 学年定員 50 名の全日制の看護師養成所に改編
平成 21 年 4 月 1 日	専修学校として授業を開始 ※平成 21 年 1 月 7 日に学校教育法に基づく「専修学校」として認可取得
平成 30 年 10 月 1 日	学院創立 50 周年記念式典
令和 5 年 4 月 1 日	1 学年定員 35 名に改定
令和 6 年 4 月 1 日	同敷地内の旧八戸市総合健診センターへ校舎を移転し授業開始

試験会場（八戸市立高等看護学院）案内略図